



4月から 水道局の組織、機構が 変わります。

少しだけ



水道局では事務の効率化を図るために会計課と企画財政課を統合します。水道局は、これまでも健全な水道事業の運営を目指して、組織の見直し等に取り組んできましたが、口座振替（振替率八十二％）の実施など、お客様の協力で効率化が実施できた事も少なくありません。これからも多くの課題がありますが、何よりも水道の安全性を前提に、サービスの向上も重視して、お客様と一体となった水道事業の改善に努めます。

那覇市の水道料金

本島内では、**高いの？ 安いの？**

水道事業は原則として市町村が経営を行っています。このため、各事業体の水源の状況、地理的条件、人口規模などによって料金が異なっています。

沖縄県（本島）の場合、自己水源を持っている事業体はほとんどなく、県企業局からの受水に頼っています。

このため那覇市でも、お客様からいただく水道料金の半分は、受水費（卸値）が占めているため、県が決める供給単価の動向が大きく影響します。

給水量の百分を県からの受水で賄っている事業体は二十市町村あり、その中で家事用二十立方メートルの一カ月当たりの料金で最も高いのは、四千七十円で、最も安いのは千八百四十円となっています。

那覇市は、三千二百二十六円で二十市町村の平均は、三千二百四十円となっています。

（料金はいずれも平成9年4月1日現在）



“節水率は高く
料金は安く”

100%受水市町村

●自己水源で一部賄っている市町村等
今帰仁村、本部町、伊江村、名護市、南部水道企業団、全武町
※南部水道企業団は、南風原町、大里村、東風平町、具志頭村で構成される。